

# 社長のひとりごと【高齢者住宅】

全ての「社長のひとりごと」がWEBで読める!  
『くぼかわよしみち.com』毎月20日更新!!

くぼかわよしみち.com

検索

ホームページ

- asahiglobal.co.jp
- global-mie.co.jp
- super-chintai.com
- agg-hd.co.jp
- goldtrust.co.jp
- goldage.co.jp
- kubokawayoshimichi.com



アサヒグローバル株式会社 代表取締役  
 ゴールドトラスト株式会社 代表取締役  
 ゴールドエイジ株式会社 代表取締役  
 文/久保川 議道  
 text:Yoshimichi Kubokawa

## サ高住は危険水位…!!

さてさて、サ高住が何件も『倒産』し  
 そうですね。赤字経営を2、3年続け  
 ていると会社は倒産するものです。別  
 に珍しいことではありません。

『会社の寿命』は10年で100社中  
 94社が倒産します。6社(6%)しか生  
 き残れないんですね。20年で1,000  
 社中3社(0.3%)しか生き残れませ  
 ん。ついでに30年ですと、10,000社  
 中3社(0.03%)で9,997社が消  
 えて無くなります。現実とはこれ程に  
 厳しいものだと実感しています。

私はおかげさまで『39年間』生き  
 残つて会社経営をしています。この  
 39年間の間に私の知り合いの経営者  
 はほとんど全部、倒産か廃業で無く  
 なつてしまいました。老舗の100年企  
 業と言われる会社は本当に少ないも  
 のです…。

そしてサ高住(介護サービス付き高  
 齢者住宅)の経営は特に難しいと私は  
 考えています。普通の経営者ではやれ  
 ません。優秀な経営者が全力で命が  
 けでやらないとサ高住は『黒字経営』  
 にならないのです。私は優秀ではあり  
 ませんが、このサ高住経営の9年間  
 の内6年間は『赤字経営』でした。し  
 かし私は命がけでやる性格ですから、  
 個人の資産も別会社の資産も全てつ

ぎ込んで、11億円を無くしてやつと黒  
 字にいたしました。

本当に苦しい6年間でした。しかし  
 今はそのたくさんさんの失敗をもとに成  
 功のビジネスモデルを作つて『サ高住学  
 校』(2泊3日)で教えています。卒業  
 生も350人程になりました。この中  
 には50人以上のドクターもおみえです  
 し、サ高住の経営で苦しんでいる経営  
 者もたくさんご参加されていました。  
 私の考えと信念は、この難しいサ高住  
 の経営に成功すれば、そして介護報酬  
 は少なくとも黒字にできれば、『サ高  
 住が日本を救う!!』ということです。

2010年の国民医療費37.4兆  
 円、介護保険給付7.8兆円、合計で  
 45.2兆円です。それが2025年には  
 60兆円と21兆円で81兆円になるので  
 す。公共工事がいつも問題になります  
 が、たった6兆円の話ですね。そして一  
 人当たりの介護報酬(介護会社の売  
 上)は国の施設の療養型で月45万円、  
 老健で30万円、特養で28万円です。民  
 間の介護付有老で20万円。そしてサ高  
 住はなんと8万円なんです。大きな  
 土地と建物を持つて24時間介護して  
 『1人月8万円』平均ではどこも赤字  
 経営は当たり前ですよ。しかしゴー  
 ルドエイジは黒字です。

老健と比べても報酬は約4分の1で  
 すから、日本中の高齢者の介護と医療  
 が『サ高住』で行なえるようになれば、  
 2025年度の81兆円は半分の40兆  
 円になると私は考えています。だから  
 サ高住が日本を救うのではないかと申  
 し上げています。しかししかし、その経  
 営は簡単ではありませんね。

2025年までにどうも100万戸  
 のサ高住が建設されるらしいのです  
 が、このままいくと6割の60万戸のサ  
 高住が倒産すると言われていました。そ  
 れは私も全く正しいと考えています。  
 ですから一生懸命にボランティアで『サ  
 高住学校』を月に一回開いて、成功のマ  
 ル秘のノウハウをテキスト付で24時間  
 もお話ししているのです。しかしどう  
 も手遅れのようなのです。何件も倒産しは  
 じめましたね…。

残念なことですし、そこにお住まい  
 の高齢者はどうするのでしょうか…。  
 新しいサ高住はいっぱい建っていますか  
 ら、まあそこに引越すればいいのか…。  
 ですが…。赤字では会社はやれませ  
 んが、『利益を目的』に会社経営をして  
 はいけません。世の中のお役に立つこと  
 が第一ですね。人に言うより自分で実  
 行ですから、私自身が経営者として  
 しっかりしなければと考えています。

老健と比べても報酬は約4分の1で  
 すから、日本中の高齢者の介護と医療  
 が『サ高住』で行なえるようになれば、  
 2025年度の81兆円は半分の40兆  
 円になると私は考えています。だから  
 サ高住が日本を救うのではないかと申  
 し上げています。しかししかし、その経  
 営は簡単ではありませんね。

わくわく

# 夢

## ニュース【高齢者住宅】

2014

5月

No.088

キラキラと明るい  
笑顔が交じり合う

優しい光が差しこむゴールドエイジ白子。  
明るい館内では、いたるところで会話が花が咲きます。  
廊下にもご利用者さまとスタッフの挨拶や笑顔があふれています。

